

秋田工業高等専門学校
数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)
令和6年度 自己点検・評価結果

- 評価日時:令和7年4月9日
- 会議名称:自己点検・評価委員会
- 開催場所:秋田工業高等専門学校
- 目的:秋田工業高等専門学校 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(応用基礎レベル)の自己点検評価
- 評価項目:文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(応用基礎レベル)」の審査項目の観点による評価

自己点検・評価の視点	自己評価	評価理由
教育プログラムの履修・修得状況、学修成果に関する事項	A	今年度からの実施するプログラムであり、評価対象科目は1年生の対応科目となる。この科目は必修科目であるため、全ての学生が履修している。修得率(履修者数に占める単位の修得者数の割合)は89%以上であった。対応科目の学修成果(成績)の平均は“良(79点~60点)”に区分され、十分な学修成果が得られている。
授業アンケート等を通じた、学生の内容の理解度・他の学生への推奨度に関する事項	A	授業アンケートにおける内容の理解度を問う設問について、75%以上の学生が「とてもそう思う」「ある程度そう思う」と回答している。評価対象科目は必修科目のため推奨は不要である。
全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	A	評価対象科目はすべて必修科目のため、履修率は100%である。
教育プログラム修了者の進路・活躍状況、企業等の評価に関する事項	-	本プログラムの修了者がいないため評価できない。

評価基準 A:十分満足している B:満足している C:改善を要する